



# あっぷねす

発行：弘前大学生協本部  
〒036-8224 弘前市文京町1番地  
Tel: 0172-34-4806 Fax: 0172-36-6965  
2024年1月15日 第161号

1ヶ月に1回発行。弘前大学生協の活動をお知らせいたします。

弘前大学生協のホームページは、「弘前大学生協」で検索！

## Vol.161

### 年頭の挨拶



明けましておめでとうございます。

組合員の皆さまにおかれては、おだやかな新年をお迎えのことと存じあげます。こころよりお慶び申し上げます。

コロナ禍はいまだ完全に終息したとはいえませんが、キャンパスの様子はだんだんと落ち着いてまいりました。授業は対面でおこなわれ、久しぶりに大学祭も挙行されるなど、大学らしい活動もすこしずつ復旧してきました。生協の食堂はまだ部分的にアクリル板で仕切られていますが、それでも友人と語りあったり、PCでレポートを書いたりといった、かつての賑わいもどってきました。

大学の外に目をむけると、元旦、能登半島で地震が発生しました。弘前大学生協では1月11日より災害支援募金をはじめました。協同組合とは相互扶助の精神のもとに営まれているのだということ、あらためて噛み締めております。

今年、弘前大学生協は創業60周年を迎えます。これまでも増して、組合員の皆さまのキャンパスライフを豊かなものにすべく、職員一同、業務に誠実につとめてまいります。

組合員の皆さまのご支援をお願いして、新年のご挨拶とさせていただきます。

弘前大学生協生活協同組合理事長 山田 史生

## 熊田ゼミ(学生カンパニーMORE)×株式会社ケサノフウケイ

開催日：11月27日(月)～12月1日(金) 場所：食堂Horest

【メニューと提供数】 嶽きみご飯：899食 嶽きみ中華スープ：538食

### 開催経緯

人文社会科学部「ビジネス戦略実習」において学生カンパニー「MORE」として地域の企業等と連携して活動。今回、株式会社ケサノフウケイさんと嶽きみを使った商品を広めるため、テストマーケティングを実施するにあたり食堂Horestで提供メニューの相談と提供をしました。



(上) 嶽きみご飯  
(下) 嶽きみ中華スープ

### 【学生カンパニー MORE 感想】

今回嶽きみの知名度向上のための取り組みの一環として、嶽きみを使ったメニューを食堂で提供させていただきました。メニューを決めるにあたって、コストの問題や大量生産ゆへの制限など、苦労することも多かったですが、生協職員の皆様のご協力もあり無事販売目標を達成することができました。

アンケート結果によると、回答者の約6割が県外出身の方だったので、県外での嶽きみの知名度向上に貢献できたのではないかと思います。



嶽きみ粒の試食の様子



アンケート用紙配布の様子



メニュー試食の様子

# 2023年度 第6回 理事会報告

12月21日開催

次回は2月22日(木) 予定

## 議決事項

### 第1号議案 2024年度 第63回通常総代会 開催方針

第63回通常総代会開催方針について提案がありました。また、学生委員会より「組合員活動の時間」のテーマについて弘大生協中期計画より「チャレンジ」とする提案があり審議しました。テーマについては、上級生の方が意見を持っていると思うのでアンケート対象者として上級生の声を聞ければよい、「新型コロナウイルス感染症の影響による様々な活動自粛」という提起になると話題が限られてしまう可能性があるため内容は検討してほしいという意見がありました。次回以降でいただいた意見を踏まえて検討することとしました。



テーマの提案をしている  
学生委員会 小林くん



学生委員会の活動報告をしている  
委員長 伊藤くん

### 第2号議案 正規職員就業規則改定

### 第3号議案 2024年度生協役員賠償責任保険の加入申し込みについて

### 第4号議案 弘前大学への寄付

### 第5号議案 年度末特別手当の支給

第1号議案～第5号議案について、全会一致で可決承認されました。

詳しくは弘大生協ホームページ・理事会の議事録・発言録をご覧ください。

【職員人事】 前田 有香 1月1日付で採用。SHAREA店に配属。

## 食の今を知る・先を見る (学生委員会)

開催日時：12月5日(火)～8日(金) 11:00～18:30 場所：食堂Horest内  
参加(クイズ応募)人数：129名

### 開催目的

- 様々な食があることを知ってもらい、食の魅力を感じてもらう。
- 企画を通して、組合員の食への関心を高める。
- 組合員に日常の食生活について見直してもらう。



5・6日「セミドライりんご」と7・8日「こ  
おろぎチョコ」の試食ブース。  
インタビューのポスター掲示も行いました。

Horestとのコラボメニュー、「ひじきの炊き込みご飯」  
「せんべい汁」「りんごのヨーグルト」「イガメンチ」「ポ  
テトと大豆ミートのカレー和え」一番人気のメニュー  
はHorestで再度提供します。



クイズブースの様子。りんごの品種を答えてピン  
ゴ形式で当てる「RINGO!」、次世代の食で  
食べられないものを選ぶ「ドボンクイズ」

食に関する企画は、前年の特産品に加えて、次世代の食を新たにテーマに取り入れて企画を行いました。2日ずつで対面企画を変更してみて、組合員に対して多くの学びを与えられた点で良かったのではないかと感じました。また、クイズでは複数人で参加して話し合いながら答えを書いたりするなど、組合員が主体的に参加している場面が見られたのがよかったです。

今年はHorestとのコラボメニューの提供を行い、多くの組合員に特産品や次世代の食について、より身近に感じてもらういい機会になりました。

今回はクイズブースを無人でも参加できるようにする試みをしましたが、参加者数が伸び悩みました。参加したくなる雰囲気や呼びかけが必要だと感じたので次回に活かします。

生協学生委員会 人文社会科学部2年 竹田翔騎

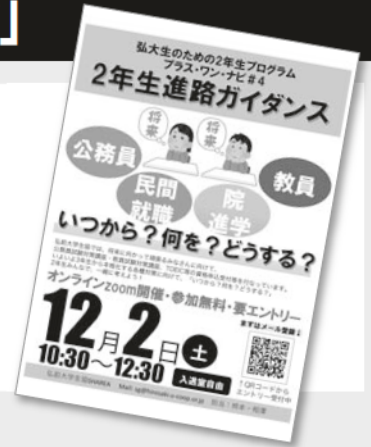


# 2年生向け学びプログラム「プラス・ワン・ナビ」

■登録者数120名 ※( )は当日参加者 ■オンライン開催


## 開催 日程

- #1 「とりあえず知っておきたい5つのこと」 6月24日 (30名)
- #2 「4年生インタビュー」 8月23日 (10名)
- #3 「弘大OBOGインタビュー」 10月28日 (7名)
- #4 「2年生進路ガイダンス」 12月2日 (15名)
- #5 「公務員入門ガイダンス」 1月13日実施
- #6 「就活ガイダンス」 2月17日実施予定




仲間づくり  
先輩とのつながり

大学生活のこと  
将来のこと



- ・卒業した学部学科について
- ・在学中にどのような経緯で今の進路を決めたのか？
- ・してて、読んでて、使ってたよかったこと、もの
- ・現在の仕事内容、ある日の1日のスケジュール
- ・仕事で大変なこと、苦勞していること、うれしかった出来事 など



2年生プログラムを始めて2年半になります。コロナ禍をきっかけに、オンラインzoom配信を使って、2年生とその保護者を巻き込んで、情報発信や将来を考える場面を作りたいと思ったことが始まりでした。先輩とも繋がりながら、ゆるーく楽しく、一緒に将来や自分の進路を考えられる場を生協として作ればと思い、年6回、参加無料のガイダンスを実施しています。

ここ2年続けてきて、毎回好評なのが先輩学生や、OBOGのリアルな声。保護者からも「聞けてよかった」の感想を多くいただいています。課題は、毎回の参加者数。アルバイトに、課題に、サークルに…、忙しい2年生かもしれませんが、「今」だから聞ける先輩の声を届けられるよう来年も機会を作っていきたいです。

SHAREA職員 学び担当 柿本加奈子

## QOL健診 弘前大学生協版

開催日時：12月7日(木) 9:30~10:30・14:00~16:30 場所：文京食堂Horest内 参加人数：55名

**開催目的** これまで参加した青森県医師会での「健やか隊員研修」を受けて、若者が健康を考える機会として、普段ご利用いただく食堂で実施できないかと相談したのが始まり。青森県医師会、青森県生協連の協力で、生協として初めてとなるQOL健診を実施できました。



(上) 測定した結果を中路先生(写真)と植村先生が解説してくれました。  
(下) 健診の様子



開催当日は木曜日で、学生の皆さんは授業のため興味があってもなかなか参加しづらい日程だったことが残念でした。それでも事前にお申込みされた学生の方、健診している様子を通りすがりに見て立ち寄る学生の方で会場は終始賑やかでした。血圧、ベジチェック、体組成計での計測、立ち上がりチェックの4種類の健診をすることに加え、その場で先生からの問診で数値化、フィードバックされることで自身の体の状態や生活習慣を知ることができるので、参加した学生の方や職員から「野菜をもっと摂らなくちゃ」「筋トレ始めよう」という声が聞こえてきました。

「健やか協力隊員」として参加できる学生スタッフも数名いるので、今後は定期的で開催して、弘大の学生と教職員の方々が気軽に楽しみながら健康を意識できるようになってほしいです。

健やか隊員(新学期担当) 中田陽子



# 学生総合共済からのお知らせ

## 11月のお支払い状況

病気入院	5件
病気手術	5件
事故入院	2件
事故手術	2件
事故通院	13件
こころの早期対応保障	3件
親扶養者死亡	2件
計	32件

お支払い金額

**2,584,000円**

## たすけあいアンケートより

「何かあったら積極的に病院を受診して健康を保つことが大切だと実感しています。治せるものは大学生のうちに！」

(卵巣嚢腫 入院5日 手術1回)

共済金 100,000円)

\*G1200コース加入者のお支払い件数を掲載しています。



## 工場見学 & 学習会

開催日：12月9日(土)

参加人数：18名(組員：9名 学生委員：8名 生協職員：1名)

### 開催目的

- ① 工場見学を通して、ごみの分別やリサイクルのしくみを知り、それらの環境問題に興味や関心を深めることができるようになる。
- ② 工場見学を通して、今起こっている環境問題が身近なものだと知る。また、それらの問題を“自分事”として捉えることができるようになる。
- ③ 見て楽しただけで終わらせるのではなく、「こうしたい!」「こうしよう!」といった当事者としての思いや願いを持ってもらい、見学後に自分が行うことを明確にすることができるようになる。



プラスチックごみを資源として再加工する工場「リプラ」

今回見学した「エコ・ネット新里工場」では、家電ごみや引っ越しごみの回収の他、食品廃棄物の回収から【堆肥→農地還元→ネギの生産】【飼料→養豚→精肉加工品販売】といったリサイクル・ループを創り出しています。また、プラスチック加工専門工場「リプラ」ではプラスチックごみを燃料として再度活用できるように取り組んでいます。



「エコ・ネット新里工場」



生ハム工房

新里工場では1店舗から10kg以上も運ばれてくる食品廃棄物を見て参加者は驚きを隠せない様子でした。実際に食品廃棄物からできた「ネギ」を見て、商品化のイメージができていました。リプラでは、紙やプラスチックからRPF固形燃料に変化する様子を見ました。

生ハム工房では、実際に豚が解体される様子や成熟されていく様子を見て、忘れられない体験をしていたようで、質疑応答の時間では時間が押してしまうほど数多くの質問が出ました。バス内での事後学習会では、工場見学を通しての感想や考えたことを意見交流し、積極的に発言する様子が見られました。

生協学生委員会 教育学部2年 大川純平

## 編集後記



雪が積もったら毎年組員センターのどこかしらに小さい雪だるまを作って置いています。例年2~3日はいるのですが今年は朝作ったものが帰宅時には居なくなっていました。どうやら遊びに行きたくなる陽気だったようです。

100円ショップで「アヒル」の形にできる雪だるま製造機?が売られていたのを見かけ、「欲しい!」と思ったのですが年に何回かしか使わないしな、と我慢、我慢。数日たって「でもやっぱり欲しいな~」と迷っているところです。必要じゃない、でも心惹かれるもの、皆さんにもありますか? (SHIMO)